

《文しょうもんだい7》

文しょうもんだいを やって みよう。こたえを 文しょうの 中から みつけよう。

【れいだい】

つぎの 文しょうを よんで、といに こたえよう。

サッカーは せかいで とても 人気の ある スポーツです。サッカーは ひとチーム 十一人で おこないます。ゴールキーパーがいはいは、足をつかって ボールを ゴールまではこびます。手で ボールを もって はこんでは いけません。

サッカーの せかい一を きめる たいかいのひとつに ワールドカップがあります。この たいかいはいは せかい中で 人気があります。

(1) サッカーは なん人で おこなう スポーツですか。□に入る ことばを かこう。

人

(2) サッカーで 手をつかえるのは だれですか。

(3) せかい中で 人気がある サッカーの たいかいはいは なんですか。

【こたえ】

(1) 十一人

(2) ゴールキーパー

(3) ワールドカップ

【かいせつ】

文しょうの つぎの ばしょに かかれて います。

サッカーは せかいで とても 人気の ある スポーツです。サッカーは ひとチーム 十一人で おこないます。ゴールキーパーがいはいは、足をつかって ボールを ゴールまではこびます。手で ボールを もって はこんでは いけません。

(3) サッカーの せかい一を きめる たいかいのひとつに ワールドカップがあります。この たいかいはいは せかい中で 人気があります。

つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

おまつりと きくと たのしみで、なんだか して きます。た^おく^おさんの ^{ひと}人^{ひと}が あつまつて 大^おさわぎ^おを したり、ごちそうを たべたりするからでしょうか。

おまつりは、もともとは おそなえを して、うたや おどりで かみさまを むかえるとい^う しゅうき^うようてきな ^{もの}ものでした。

おまつりの ^{ない}ない ^{くに}くにや ^{みんぞく}みんぞくは ^{あり}ありません。おまつりは、せかいの ^{かくち}かくちに ^{ある}あるのです。

(1) ☐ に ^{はい}入^{はい}る ^{ことば}ことばを ^アアから ^ウウから えらばう。

ア ^{びく}びく
イ ^{しく}しく
ウ ^{わく}わく

(2) おまつりは、もともとは ^{どんな}どんな ^{もの}ものでしたか。☐ に ^{はい}入^{はい}る ^{ことば}ことばを ^{かこう}かこう。

を ^{して}して、

や

で

を ^{むかえ}むかえると ^{いう}いう

しゅうき^うようてきな ^{もの}もの

(3) おまつりは、^どど^{んな}んな ^{ところ}ところで ^{あり}ありますか。^な文^なしょうの ^{なか}なかから ^{みつ}みつ^{けて}けて ^{かこう}かこう。

つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

モーツァルトと いう 音^{おん}がくかを しって いますか。モーツァルトは、天^{てん}さいと いわれて います。その じだいの あたらしい 音^{おん}がくを たくさん つくったからです。なくなるまでの 三十五年^{さんじゅうごねん}かんで 六百^{ろっぴゃく}いじょうもの きよくを つくって いるのです。それは いまも のこっ て います。

モーツァルトが なくなってから 二百年^{にひゃく}いじょうが たちました。いまでも たくさんの 人^{ひと}が モーツァルトの きよくを 。

(1) モーツァルトは、なぜ 天^{てん}さいと いわれ て いるのですか。□に 入^{はい}る ことばを かこう。

その じだいの

を

つくったから

(2) モーツァルトは、なくなるまでの 三十五年かんで どのくらいの きよくを つくりまし たか。

の きよく

(3) □に 入る ことばを アから ウから えらばう。

ア きいて います

イ ばかに して います

ウ わすれて しまいました



つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

おまつりが ちかく になると、わくわくしてきます。たくさんの 人^{ひと}が あつまって 大^{おお}きわぎを したり、ごちそうを たべたり するからです。

おまつりは、もともとは おそなえを して、うたや おどりで かみさまを むかえるといいう しゅうきょうてきな ものでした。

おまつりの ない くにや みんなぞくは ありません。おまつりは、せかいの かくちに あるのです。

(1) おまつりが ちかく になると、わくわくしてくるのは なぜですか。□に ^{はい} 入る ことばをかこう。

を したり、

が あつまって

を たべたり するから

(2) おまつりは、もともとは どんな ものでしたか。□に 入る ことばを かこう。

を して、

うたや おどりで

を

むかえると いう しゅうきょうてきな もの

(3) おまつりは、どんな ところで ありますか。文しょうの 中^{なか}から みつけて かこう。

つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

モーツァルトが なくなつてから 二百年^{にひゃくねん}いじょうが たちました。いまでも たくさんの 人^{ひと}が モーツァルトの きよくを きいて います。

モーツァルトと いう 音^{おん}がくかは 天^{てん}さいとよばれて います。その じだいの あたらしい音^{おん}がくを たくさん つくつたからです。モーツァルトは、なくなるまでの 三十五年^{さんじゅうご}かんで 六百^{ろっぴやく}いじょうもの 名^{めい}きよくを つくつて います。

(1) モーツァルトが なくなつてから どのくらい たちましたか。文^{ぶん}しょうの 中^{なか}から みつけて かこう。

(2) モーツァルトは、なぜ 天^{てん}さいと いわれているのですか。□に 入^{はい}る ことばをかこう。

その じだいの

を

つくつたから

(3) モーツァルトは、なくなるまでの 三十五年かんで どのくらいの きよくを つくりましたか。

の きよく



つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

よるの 空^{そら}を みつめて いると、しっぽのよ
うな せんを ひきながら、ひかって とんで
いく ものが きゅうに あらわれる ことが
あります。これが ながれぼしです。

ながれぼしが ひかって いるのは、
一^{いち}びょうほど。その ながれぼしが きえない
うちに ねがいごとを 三^{さん}かい いうと、それが
かなうと いわれて います。

(1) ながれぼしは、どんな ものですか。□に
入^{はい}る ことばを かこう。

のよう な

を ひきながら、

もの

(2) ながれぼしが きえない うちに ねがいごとを
なんかい いうと、それが かなうと
いわれて いますか。

かい

(3) □に 入る ことばを アから ウから え
らぼう。

ア かなり
イ わずか
ウ ちいさく



つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

ながれぼしが きえない うちに ねがいごとを 三^{さん}かい いうと、それが かなうと いわれて います。

ながれぼしとは、よるの 空^{そら}を みつめて いると、しっぽのような せんを ひきながら、ひかって とんで いく ものです。

ながれぼしが ひかって いるのは、わずかに 一^{いち}びょうほど。だから、三かいも ねがいごとを いうのは とても です。

(1) ながれぼしが きえない うちに ねがいごとを なんかい いうと、それが かなうと いわれて いますか。

かい

(2) ながれぼしは、どんな 物^{もの}ですか。 ☐ に 入^{はい}る ことばを かこう。

のような

を ひきながら、

もの

(3) ☐ に 入る ことばを アから ウから えらぼう。

ア こわい

イ かんたん

ウ むずかしい